

常滑市民病院だより

発行者：病院長 鈴木 勝一
編集：病院広報委員会
第48号
2009年7月1日発行



「6月から各部署へ配属された新人一同です。
よろしくお祈りします」

— 第48号の内容 —

- *「私たち新人です」
- *「地域連携」 副院長 中山 隆
- *「臨床工学とは」
臨床工学技士 羽田野浩史
- *「健康講座」自分だけは例外
神経内科部長 越村 仁一
- *「お知らせ」
新型インフルエンザと常滑市民病院
- *季節のメニュー「夏」
管理栄養士 杉江美千代

私たち新人です

常滑市民病院の新人達は、新型インフルエンザ・五月病にも罹らず毎日元気でがんばっています。新人看護師は、6月から配置場所も決まり気持ちも新たにしています。そんな心境を一言ずつ聞いてみました。

- New検査技師** 大西由莉：生理検査に配属が決まりました。患者さんに信頼されるよう自信を持ち安心して検査ができる様に頑張ります。
- New看護師** 伊藤 茜：3階病棟に配属になりました。まだわからないことや不安なことがたくさんありますが勉強をしながら楽しく頑張っていきます。
- New看護師** 杉浦菜美：2階病棟に決まりました。特殊な科なのでわからないことがたくさんありますが気合入れて頑張ります。
- New看護師** 藤野梨早：手術室に配属されました。不安なことばかりですが、毎日楽しくをモットーに頑張っていきたいと思います。
- New看護師** 柴田愛美：3階病棟に配属になりました。早く業務を覚えて、病棟に馴染めるよう笑顔で頑張りますのでよろしくお願いします。
- New看護師** 竹内香苗：東4階病棟で勤務します。毎日笑顔を絶やさず元気に頑張っていきます!! 分からない事ばかりですがよろしくお願いします。
- New看護師** 山根美穂：西4階病棟に配属になりました! 毎日元気に笑顔で頑張ります。一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。
- New看護師** 長井麻耶：少しでも早く仕事を覚え一人前になれるように頑張ります。毎日笑顔で元氣よく一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。
- New看護師** 辻本結香：まだ分からない事がたくさんあるけど、知識や技術を身に付け、自信を持って行動できるように頑張ります。
- New看護師** 久野萌子：3階病棟に配属されました。まだ分からない事が多いですが少しでも早く仕事を覚えて毎日一生懸命頑張ります。
- New看護師** 山本憂一：2ヶ月の研修を終え、5階の配属になりました。1年目なので挨拶や自分の意思表示など基本的な部分からしっかりとしていきたいです。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

「地域連携について」

副院長 中山 隆

この度、従来病診連携室として仕事を行っていた部署を地域連携室とし私と看護師 長屋博美、MSW 鬼頭勝俊、診療情報管理士 山中弓子で担当することになりました。

現在の医療状況の中では、常滑市民病院単独で全ての事に対応できるわけではもちろんありません。開業医の先生方との連携、介護施設との連携、他の専門病院との連携、福祉行政との連携など、患者様のニーズに応えるには、地域全体としての取り組みが必要になります。まだ地域連携室としては始まったばかりですが、開業医の先生方からの紹介診療を円滑に行うために予約申込書の改訂を行いました。患者様の必要な診療情報を頂くと共に当院の受診日や主治医の確実に連絡し、患者様の受け入れを円滑に行う様にしていきます。また地域の介護施設との連携協議会も定期的に開催し、サービス向上につなげたいと考えています。

さらに地域連携という面で、本年画期的なことがありました。皆様ご存知の通り、常滑市民病院はもちろん勤務医の置かれている状況は、年々厳しく

なっています。特に、勤務医の減少、救急外来のコンピュータによる患者数の増加などから救急診療の負担がどんどん重くなって、勤務医が疲弊している現状があります。この中で、月に1回休日の市民病院の救急外来を、医師会の先生方が担当して下さることになりました。医師会の先生方のご理解とご協力に、市民病院の医師一同深く感謝致しております。これは常滑市の医療を医師会、市民病院、行政組織など市全体で支えていくというすばらしい姿勢の現れだと思います。

今後とも常滑市の医療をより良いものにすべく地域全体の連携を更に密にして充実させていきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。



「臨床工学ってなに？」

臨床工学技士 羽田野 浩史

“臨床工学”という言葉は聞きなれないと思います。診療（診察）と聞くと医師、看護といえは看護師、検査は臨床検査技師か診療放射線（レントゲン）技師などが診察・看護・検査という言葉から連想できる職種ですが、臨床工学となると、『病院の中で何をやる人なの』となるのは当然だと思います。なぜなら、病院で働く人の中でさえ同じ様に思うことがあるので、皆さんが聞きなれないのは不思議ではないと思います。

そこで、皆さんに臨床工学技士を知って頂くため、仕事の内容を紹介させていただきます。私たち臨床工学技士は、病院の中にある機械、例えば、点滴を正確に注入する輸液ポンプやシリンジポンプ（機械に注射器がセットされている機械です。）、人工呼吸器などの機器を医師や看護師が安全に使えるように常に点検を行っています。また、人工腎センターで透析装置という機械を使った治療を行うときには、

医師の指示のもとでその機械の管理や操作を行います。

そして、病棟で機嫌を損ねた機器を点検しに行くこともあります。医師や看護師と一緒に病室に機器の調子を見に行ったときには、よろしくご協力をお願いします。

私たち臨床工学技士は、色々ある医療機器を点検、整備し、機器と医療をむすび、皆様に安心して安全な医療環境を提供できるよう努めています。



臨床工学

検索





自分だけは例外

神経内科部長 越村 仁一

お詫び

先月末、常滑市民病院だよりなる年四回の季刊誌のための原稿執筆依頼があった。

NOといえない性格?が災いし一旦引き受けたのだが、通常業務にも追われ気が付けばもう締切日。尻に火がつかなければ集中できない私であるが、今回は完全に炎に包まれている。内容はおろか題すら浮かばず…。

たまたま、外来の患者さんに『先生って大変ですね。もし、豚インフルエンザの人が来たら知らないうちに感染しちゃう危険があるのに…』そういえば、先日の神経内科月刊誌に…というわけで今回は盗作(引用)です。

自分だけは例外

『Man makes an exception of himself.』

On croit toujours faire exception. (ひとはいつも自分だけは例外だと信じているものである)

—Nicolas Ségur(1925)—

稀な病気に罹っていると知らされると大抵の人は、なぜ自分がよりによってこんな病気になったのだろ

うと考える。多くの病気があるにもかかわらず、自分だけは罹らないと思っているから医師が勤まるのである。インフルエンザが流行っていても、自分は大丈夫であると思う。年を取って学校時代の同級生の訃報に接しても、自分はまだ大丈夫であると思う。多くの敵弾が飛んできて、戦友がばたばたと倒れても自分だけには弾は当たらないと思うから兵士は敵陣に突進できるのだという記載を読んだ記憶がある。自分の乗っている飛行機だけは落ちないと乗客は思っている。このような気持ちがあるが故に人は生きていけるのであろう。これは人間のみならずすべての動物に共通する本能的な心理ではなかろうか?

最近さまざまな病気について、あなたも決して例外ではなく罹る危険性がありますよと親切にもマスコミは盛んに教えてくれる。しかし、過度の宣伝は生存権の侵害ではないのか?自分だけは例外であると思うからこそ人は生きていけるのである。冒頭のNicolasの短い言葉はじつに深い意味を含んでいると筆者は考えている。(文献)古川哲雄. 臨床メモ. Neurological Medicine. 千葉西総合病院神経内科

全く同感です。

お知らせ 新型インフルエンザと常滑市民病院

病院長

海外からインフルエンザの侵入を防ぐ水際作戦として、新型インフルエンザが発症している国から帰国し、発熱等の症状のある人は、まず知多保健所発熱センターに電話します。その中で常滑出身の人は保健所から市民病院に連絡があり、当院第二呼吸器診察室で感染防御ガウンを着用した医療スタッフによってA型インフルエンザかどうか検査し、もしA型インフルエンザ陽性の時は知多厚生病院へ搬送することにしました。しかし厚

生病院へ送る人は現在までいませんでした。

人から人への感染が神戸等で見られた段階から、院内の患者さんにインフルエンザが伝染しないようにするため、病院内への出入り口を制限し、発熱者をチェック、そしてマスクをすべての人に装着して頂くことにしました。

今回のインフルエンザが弱毒性であることが判明した段階で、マスク着用や玄関でのチェック体制を緩和しつつあります。ご協力感謝いたします。

季節のメニュー「夏」

管理栄養士 杉江 美千代

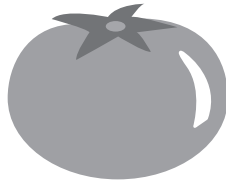
花咲く春が過ぎて、暑い夏の季節となりました。暑さに負けて夏バテしないように、食事を工夫して元気に夏を楽しみましょう。夏が旬のトマト、ナス、ピーマンを使った短時間で出来る料理を紹介します。

トマトの赤い色に含まれるリコピンは、生活習慣病、ガン、老化促進などの原因と言われる活性酸素を取り除く働きがあります。ナスは93%が水分で、紫の色素はブルーベリーと同じアントシアニンが含まれています。ピーマンは、ビタミンCの含有量がレモン果汁より多く、加熱しても壊れにくいのが特徴で、発汗で失われるビタミンCの補給効果が期待できます。料理の苦手な男性も、チャレンジしてみてください。

◎トマトとポーチドエッグのサラダ

■材料（1人前）

トマト（中サイズ）	1個
紫玉葱（中玉）	1／8個
鶏卵	1個
マヨネーズ	適量



■作り方

- ①深めの小鉢に水を入れ、鶏卵1個を割り入れ、水から卵が出ていないか確認したらラップをかけ、電子レンジで加熱します。（目安は1分少々）
- ②トマトは、へたを取り除き、1cm位の厚さに薄く切ります。
- ③紫玉葱は、出来るだけ薄く切り、流水でさっと洗って水を切っておきます。
- ④器にトマトを敷き、紫玉葱、ポーチドエッグの順に盛り付けたら、マヨネーズをかけて、出来上がり。たまごを潰してマヨネーズと混ぜながら頂きます。

◎ナスのカレー炒め

■材料（1人前）

ナス（中サイズ）	1本
ウィンナソーセージ	1本
炒め油	適量
カレー粉	
塩	



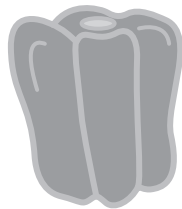
■作り方

- ①ナスは縦半分に切ったら、1cm位の厚さで斜めに切り分けて、水に晒します。
- ②ウィンナソーセージは、斜めに薄く切り分けます。
- ③熱したフライパンに油、ナス、ウィンナを入れ炒め、カレー粉と塩で味を整えたら、出来上がり。カレー粉が苦手な人は、中華スープの顆粒に変えても良い。

◎ピーマンのきんぴら

■材料（1人前）

ピーマン（中サイズ）	3個
ゴマ油	少々
みりん	小さじ1
醤油	小さじ1



■作り方

- ①ピーマンは、へたと種を取り除き1cm位の幅に切り分けます。
- ②小鉢にピーマン、ゴマ油、みりん、醤油を入れたら、ラップをかけて電子レンジに入れて1分程度加熱したら出来上がり。混ぜ合わせて頂きます。

編集後記

某テレビ局の夜中に流れている「セントレアと焼き物の街」という番組があることをご存じですか。内容は同じものを放映しているのですが、常滑の四季をうまく表現していて、ほのぼのとしたよい番組でついつい見てしまいます。普段病院内から目にする飛行機の離発着や、院内にさり気なくおかれた陶器などではあまり感じませんが、その時ばかりは常滑が中部の玄関である近代的な空港と、伝統的な文化を持ち合わせたよい街になってきていることが再認識できます。

（編集担当 中谷）